

働きやすい職場づくりを コミュニケーションから



特別養護老人ホーム 信楽荘

滋賀県甲賀市信楽町牧1159
TEL.0748-83-1313
<https://www.shigaraki-itsuki.com>
職員数133人(女性比率68%)



Welfareしがらき — 共に笑い 共に
生きる — を理念として特別養護老人
ホームを運営。利用者さんはもちろ
んのこと、職員、家族、取引先、地域
の人たちも含む【信楽荘に関わる全
ての人】にとって幸福、繁栄、快適な
生活の実現を目指し、その理念に沿
った事業活動を信楽荘で行っています。



STEP. 01

現状を認識する

信楽荘はリフレッシュ休暇も有給休暇取得率70パーセントを超えている。またトレーニングルームもあり職場の福利厚生面は充実している。しかし、シフト勤務などの勤務形態の違いや、職員の多さ故に、**管理職と部下、部署間でのコミュニケーションがとりづらい状況がある。**オープンテラスやトレーニングルームなど社員の声でできた場所もあり認知されずコミュニケーションをとる場として十分に活用できていない。

なるほど!
今の状態を知ることで改善点が見えてくるのね!



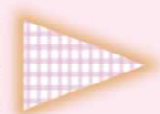
STEP. 02

何をどう改善していくか

管理職が部下とのコミュニケーションを図ることは業務だという認識のもと管理職スキルとしての「部下とのコミュニケーション」を身に付ける機会をつくる必要がある。また、「ミーティング」や「プロジェクト」といった職場をよくするための場づくり・機会づくりを自ら実行するよう、管理職候補者が意識していくことも重要。

アドバイザーからのヒント

- 部下とのコミュニケーションは仲良くなることではなく「信頼関係」を構築することです。



STEP. 03

具体的なアクション

アドバイザー派遣の3回のミーティングを通じて、「気づき」があったという声や、「自ら何かをしたいという変化が生まれた」との声があったので、今後は、全管理職のコミュニケーション能力の向上に向けたトレーニング(研修等)の実施や、「オープンテラス」等の今ある施設や制度をより有効に活用するために目的と利用方法の周知徹底の実施、部署を超えたコミュニケーションをとるためのきっかけづくりを行っていく。



職員と利用者さんの笑顔あふれる施設になりそうですね



STAFF VOICE



デイサービス
石本 幸枝さん

日頃働く中で「どうすれば気持ちよく仕事ができるか、利用者さんへのサービスを良くするにはどうすれば良いか」と個人的にも、部署の中でも考えたりすることはありましたが、ミーティングに参加することで「施設全体」が良くなったらいいという気持ちが出てきました。特に、普段話さない他の部署の方の話を聞いたりする中で気づくこともあり、考え方が変わりました。

STAFF VOICE



ケアマネジャー
辻本 美咲さん

一日、出産・育児を機に退職をし、13年ぶりに復職をして2年目。地元で根付く施設として信楽荘がよりよくなって欲しいと感じていましたが、何をどう動けばいいかわからなかったため、ミーティングに参加して「職場でやりたかったのはこれだ!」と思いました。色々な人とコミュニケーションをとって話をする中で、「何が変えられるかも」と期待が出てきたので、こうした取組を続けるために何ができるかを考えていきたいと思っています。

STAFF VOICE



ユニット介護
横田 康滋さん

日頃、職場の人と直接的な業務のこと以外について話す機会がなかったけれど、こうした場があることで安心して話をしてもらいたいと感じられました。他の部署の人の意見を聞くことで新たな発見もあり、職場を良くするために何をすればいいか、自分が何ができるのかを考える時間は非常に充実していました。これからもミーティングを続けていきたいです。

職場内コミュニケーションを
利用者満足度向上へ繋げる

副施設長 奥嶋 たみ子さん

信楽荘では「地域の社会福祉サービスの向上」を基本理念とし、人との繋がりを大切に入居者の皆さまやそのご家族、そして地域の方たちのお役に立ちたいと思っています。そのためにも、「〇〇さんが居るから信楽荘に入所したい!」といわれるような職員が、笑顔で楽しいと感じながら働ける職場でなければならないと考えています。職員も利用者の皆さまも共に楽しいことおもしろいと感じ、笑えて、生き活きたした毎日過ごせる職場づくりを目指しています。そうした職場をつくるために、自ら考え行動する小さな成功体験を積み重ねることで職員のやる気を引き出し成長できる機会をつくりたいと考えています。今回のアドバイザー派遣により職員の考え方が変わるきっかけになればと思っています。